

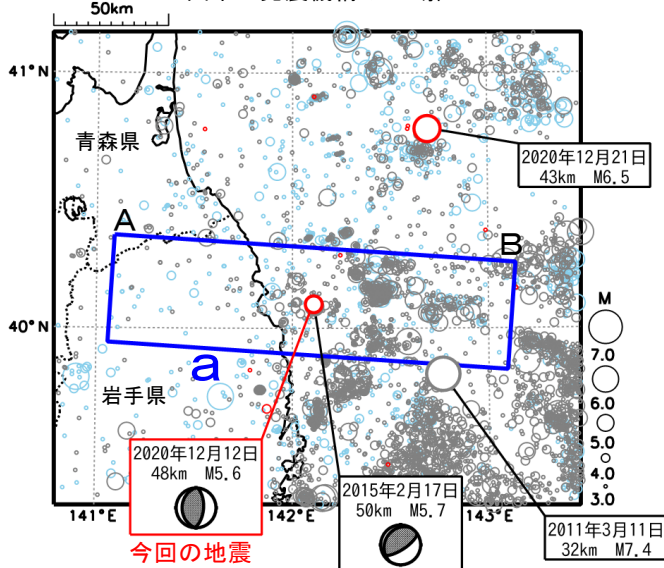
12月12日 岩手県沖の地震

震央分布図

（1997年10月1日～2020年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ ）

2011年3月10日以前の地震を水色、
2011年3月11日以降の地震を灰色、
2020年12月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

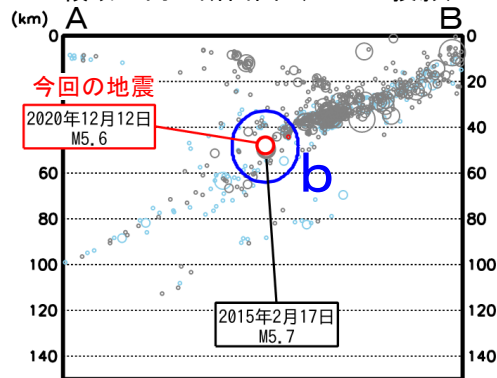


2020年12月12日16時18分に岩手県沖の深さ48kmでM5.6の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

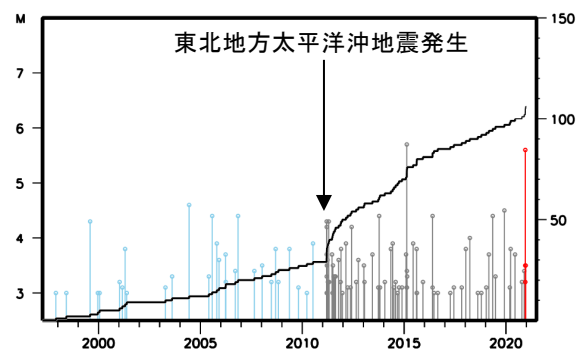
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2015年2月17日にはM5.7の地震（最大震度5強）が発生した。領域bでは、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降、地震の発生数が増加している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震がしばしば発生しており、1995年1月7日には「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震（最大震度5）が発生した。

領域a内の断面図（A－B投影）



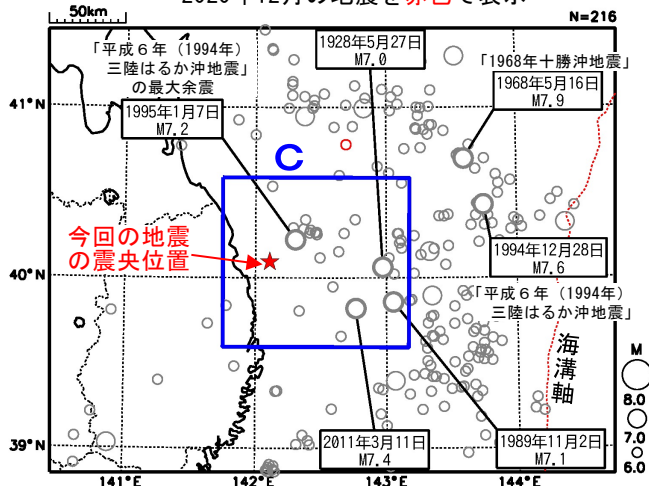
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図

（1919年1月1日～2020年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ ）

2020年12月の地震を赤色で表示



領域c内のM－T図

